



サニックスワールドラグビーユース交流大会 2026 へ 国内外の強豪 8 チームが激突 追手門学院高校女子ラグビー部が国際大会に出場

追手門学院高等学校（大阪府茨木市、校長：木内 淳詞）女子ラグビー部は、2026年4月28日（火）からグローバルアリーナ（福岡県宗像市）で開催される「サニックスワールドラグビーユース交流大会 2026」に出場します。

本大会は毎年ゴールデンウィークに行われる高校生世代の国際大会で、女子ラグビー部が出場する女子7人制には、本校を含む国内4チーム、海外4チームの計8チームが参加します。あわせて、国際大会出場にあたり、5月19日（火）14時から、茨木市の福岡洋一市長、森岡恵美子教育長への表敬訪問を予定しています。



追手門学院高校女子ラグビー部

追手門学院高校女子ラグビー部は、全国大会や地区予選で実績を重ねてきました。

直近では、第8回全国U18女子セブンズラグビーフットボール大会で4位、近畿ブロック予選で1位、昨年のサニックスワールドラグビーユース関西予選で準優勝の成績を収めています。

こうした中、今回、本校で行われたサニックスワールドラグビーユース関西予選で1位となり、「サニックスワールドラグビーユース交流大会 2026」への出場を決めました。

「サニックスワールドラグビーユース交流大会 2026」は、国内外の高校生世代が競い合う国際大会です。女子7人制は国内4チーム、海外4チームの計8チームで実施されます。

追手門学院高校女子ラグビー部は、4月28日（火）の予選リーグから出場し、海外チームを含む各チームと対戦します。国内大会や地区予選で積み重ねてきた経験をもとに、国際舞台での実戦に臨みます。また、5月19日（火）14時から茨木市の福岡洋一市長、森岡恵美子教育長を訪問し、国際大会の結果を報告します。

【女子ラグビー部 辻本 つかさ監督】

いつも温かい応援を本当にありがとうございます。この大会は出場枠が少なく、予選を突破することが難しい大会でありましたが、4年ぶりの念願の出場となります。更なる高み、優勝を目指し戦って参ります。

【女子ラグビー部キャプテン 一ノ瀬 葵さん】

私たちは優勝を目指し、サニックスに挑みます。世界の強豪と戦える貴重な機会や、支えてくださる方々への感謝を胸に、チームスローガン「頂越」のもと、部員一丸となり全力で戦います。応援よろしくお願ひします。

【本件のポイント】

- 追手門学院高校女子ラグビー部が、「サニックスワールドラグビーユース交流大会 2026」に出場
- 女子7人制は国内4チーム、海外4チームの計8チームで実施、4月28日から試合開始
- 関西予選1位で出場権を獲得、5月19日に茨木市長・教育長へ表敬訪問予定

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-665-9166 西村・織田